

【別紙1-2】機能要件一覧

機能	要件	
1 基本動作	1	LINE上での問合せ（写真やテキスト）に対し、分別区分や方法等を自動応答により行うこと。
	2	生成AI（LLM：大規模言語モデル）を搭載し、写真及びテキストの入力を理解した上で、問合せ内容に応じた回答を行うこと。
	3	問合せ内容に関する回答は、発注者が提供するFAQデータ等のナレッジに基づいて生成するもの。 また、Webサイト等の外部情報を取得する機能を有する場合は、発注者の意向により機能の利用を制限できること。 ただし、読み取ることができない写真等はこの限りではない。
	4	判定できない写真は再確認の案内を行うこと。
	5	判定結果の内容に対して、正確性に関するフィードバック（正しい・誤りの評価等）を送信できる機能を有すること。また、そのデータの保存場所については、日本国内とすること。
	6	日本語画面を、外国語10カ国（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、シンハラ語、インドネシア語、ミャンマー語）に切り替えを行い、日本語同様に問い合わせ（写真やテキスト）に対し、分別区分や方法等の案内を行う機能を有すること。
	7	問い合わせ（写真やテキスト）に対する判定結果（品名かつ分別区分）の精度向上に努めることとし、判定が誤っていた場合は、迅速に改善を行うこと。
	8	本市公式LINEアカウントと連携させるため、必要な情報（Messaging APIのチャネルアクセストークン等）を発注者へ提供すること。
	9	令和8年9月15日頃に、令和8年12月1日から活用する本番用の二次元コードを準備し、発注者へ提供すること。
	10	令和8年11月1日から、テスト環境を使用できる状態とし、9月末頃には、二次元コードを準備し、発注者へ提供すること。
2 動作設定	1	問合せ内容を生成AIに学習させない仕組みとすること（オプトアウト）。
3 管理画面	1	発注者がLGWAN環境で管理画面にログインできる環境を構築すること。ただし、管理画面を準備しない場合に、受託者が適正に管理し、修正作業等を行う場合はこの限りではない。
	2	発注者が管理画面にログインするためのアカウントを発行できること。ただし、管理画面を準備しない場合に、受託者が適正に管理し、修正作業等を行う場合はこの限りではない。
4 動作検証	1	発注者が管理画面でチャットによる動作検証ができること。ただし、受託者が管理し、動作検証を行う場合はこの限りではない。
	2	動作検証用の画面を別途発行できること。ただし、受託者が管理し、動作検証を行う場合はこの限りではない。